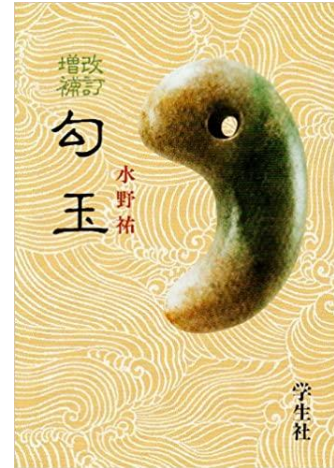


私の本棚 / JGS ニュースレター63号 (2022/令和4年 1月 配信)

「勾玉」

著者 : 水野祐
価格 : 2,200 円 (税込み)
出版社 : 学生社; 改訂増補版 (1992/7/1)
発売日 : 1992/7/1
言語 : 日本語
単行本 : 282 ページ
ISBN-10 : 4311201737
ISBN-13 : 978-4311201738



垂玉としてみると、勾玉はまさしく奇異な玉である。見方によってはいろいろなものに見えるあの形態。深い緑の透きとおったようであり、またどんよりとよどんでいるようでもあるあの色調は、みつめていると、際限のない神秘の世界にすいこまれていくようだ。一見グロテスクにも見えるあの奇妙な形態は、手にとってみると、なんとも言いようのない魅力を感じるから不思議である。

「三種の神器」の中で、鏡が伊勢神宮、剣は熱田神宮に祭られているのに、なぜ勾玉だけを祭る神宮がないのか、と素直な素朴な疑問が勾玉へと私をひきつけた。

目次

プロローグ 出雲玉造への旅

- 1, 史跡公園と玉造温泉の近代化
- 2, 玉のいろいろ
- 3, 神の湯と玉を作った人々
- 4, 驚くべき出雲玉造の攻玉技術
- 5, 出雲の古代攻玉遺跡
- 6, 三種の神器と勾玉
- 7, 踐祚大嘗祭と出雲国造の神火相継式
- 8, 矛の男神と勾玉の女神
- 9, 勾玉の道

エピローグ 勾玉の謎。